

患者さんと中央市民病院をつなぐ情報誌

SHIOKAZE Magazine

し / お / か / ぜ / 通 / 信

Vol.
60

2025
SUMMER



— TOHRU NAGANO

— SHIGEKI ARIZONO

— NAOKI KANDA



P1-3 副院長・部長就任のごあいさつ

P4 11年連続救命救急センター全国第1位

P5 第21回千里メディカルラリー
“BE KOBE”チームが優勝しました！

P6 “命のバトンをつなぐ”救命技術の輪

P7 脳動脈瘤といわれたら

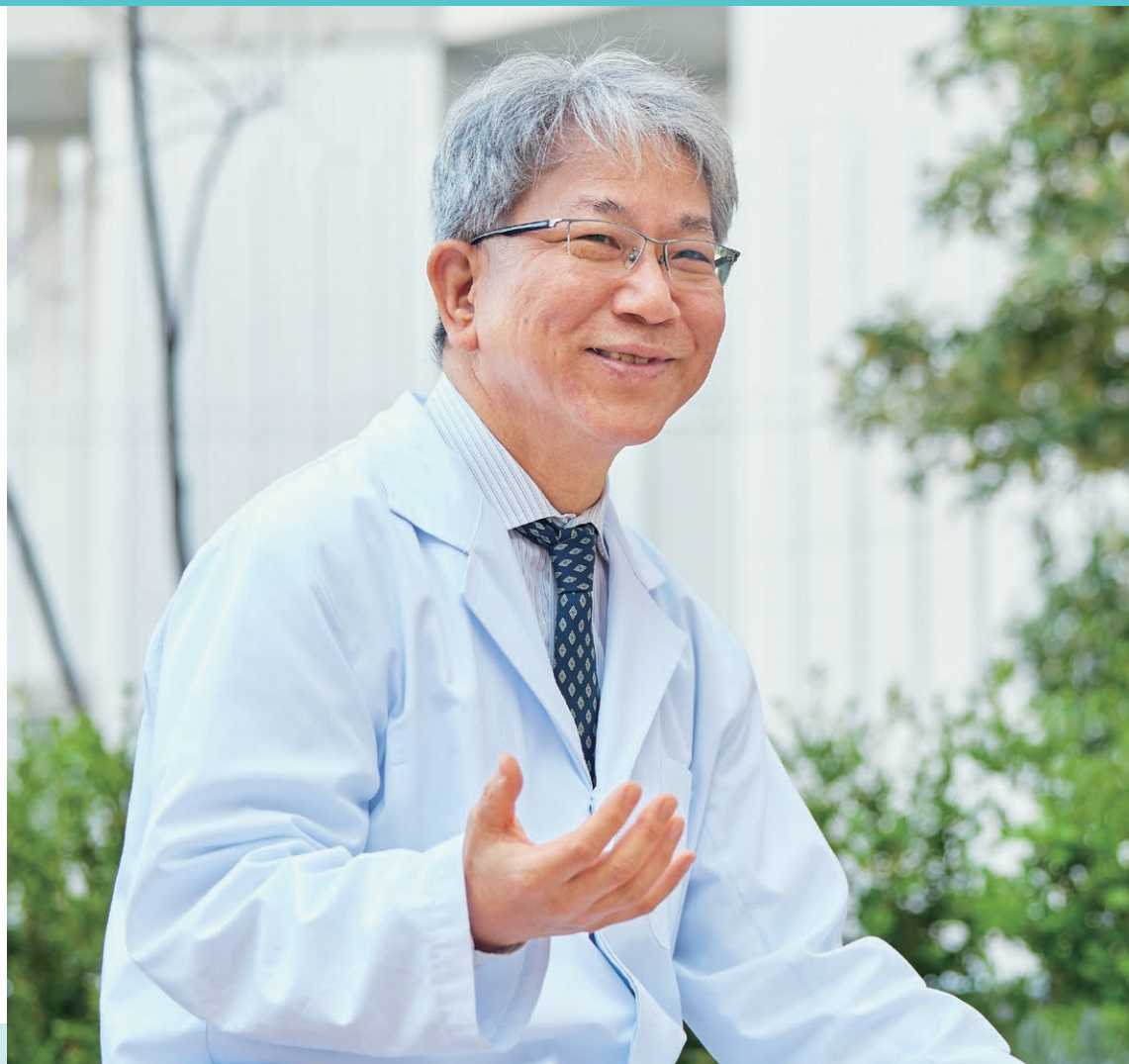
P8 外傷ホットラインを開設しました

P9 医師も学ぶ！手指衛生研修で安全な医療を

P10 出張患者教室のご案内

P11 ご寄付のお願い

皮膚科医の原点を胸に、 未来を見据える



副院長兼皮膚科 部長

ながの とおる
長野 徹



最良のOutcomeを
目指して

令和7年4月1日付けで副院長を拝命いたしました長野 徹です。私は平成元年神戸大学を卒業し平成22年に当院に皮膚科部長として着任いたしました。英国留学や国立がんセンター時代を除けばほぼ一貫して神戸市に在住・勤務しております。

15年前私が当院に赴任したころと比べますと皮膚科を取り巻く状況は一変いたしました。アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬、悪性黒色腫に対する新規薬剤の導入など枚挙にいとまがありませんが、皮膚科医の原点である皮膚を見る・診る・観るの視点を忘れず、皮膚疾患のオールラウンダーを目指してまいります。

あわせて副院長として当院の現況・未来・方向性を注意深く見てまいります。働き方改革や物価高といった外部要因により当院のおかれている状況も大変厳しいものがあります。当院の持つマンパワー・潜在力・総合力をもってすれば 難局を乗り越えようと確信しており、微力ではありますがその一助になるよう努力いたします。ご指導・ご支援を今後ともよろしくお願いいたします。

豊富な経験と最新機器で
消化器疾患治療の未来
ひらく

消化器内科 部長

かんだ なおき

神田 直樹



各分野のエキスパートが一丸となり、
質の高い医療を提供



令和7年4月1日付で消化器内科部長に着任しました神田直樹です。私は、平成7年に京都大学医学部を卒業し、関西電力病院・高槻赤十字病院・京都大学医学部大学院などで約30年間、消化器がんの内視鏡治療にたずさわってきました。特に、その治療の中心となる内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)については、主実施医として1000例以上を施行し自信をもって治療にあたっています。当院の最新の機器やこれまでの経験をいかし、**全周性の表在食道がんや、大きな早期大腸がんの治療など、難易度の高い治療を増やしていきたいと思っています。**

消化器内科は、五臓六腑のうち二臓四腑を占める幅広い領域を担当し、内視鏡治療・化学療法・炎症性腸疾患の治療など様々な治療があります。そして、**当院は各分野のエキスパートを擁し、専門性が高く良質な医療を提供できる体制になっています。**

歴代部長が確立された伝統ある神戸市立医療センター中央市民病院消化器内科を、さらに発展させ、最良の医療を提供していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

最新技術の画像診断とIVRで
健康に貢献する



放射線診断科 部長

ありぞの しげき

有菌 茂樹



SYNAPSE SAI viewerによる
AIを活用した画像診断

令和7年4月1日付で、放射線診断科部長に就任した有菌茂樹と申します。平成23～26年に当院で勤務後、京都大学にて経験を積み、令和2年より再びご縁をいただいております。

放射線診断科では、CT、MRI、PETなどの各種画像検査を通じて、画像から得られる医学的情報をもとに、主治医が迅速かつ的確な診断を下せるよう日々努めております。

昨年12月には画像診断用のビューワーが更新され、AIによる補助診断機能が導入されました。完全な自動診断の実現にはまだ時間を要しますが、進化する技術を積極的に活用し、より正確な診断を目指してまいります。

IVR（画像下治療）では、頭部と心臓を除く殆どの領域における血管内治療や、画像ガイド下でのドレナージ、生検などを行っています。特に当院では緊急IVRの件数が多く、外傷性出血に対する血管塞栓術などにも24時間体制で対応しています。

各診療科の医師や診療放射線技師、看護師の方々と密に連携を取りながら、少しでも患者さんの健康に貢献できるよう、これからも一層精進してまいります。

令和7年4月15日に厚生労働省から発表された「救命救急センターの評価結果（令和6年）について」において、当院の救命救急センターが、全国308の施設中、第1位の評価を獲得いたしました。これにより、平成26年度から続く「救命救急センター全国第1位」の評価を11年連続でいただくこととなりました。

令和6年における当院の成績は、評価対象となる全45項目すべてにおいて満点を獲得し、充実段階評価において最高の『S』評価をいただくことができました。

当院では「1年365日・24時間断らない救急医療」という理念のもと、安全で安心な医療の提供に努めております。また、兵庫県における「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」として同感染症の重症患者を受け入れるとともに、救急医療・高度医療の提供との両立を図ります。

地域医療機関と連携を図りながら神戸医療圏の中核病院として、また市民の最後の砦として役割を果たしてまいります。



“BE KOBÉ”チームが優勝しました！

第21回千里メディカルラリー

令和6年11月3日（日）に、大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター主催の“第21回千里メディカルラリー”が開催され、全国から23チームが参加して限られた時間内でどれくらいの的確に診断と治療を実施できるのかを競いました。

メディカルラリーとは、救命救急を専門とする医師、看護師、救急救命士がチームを組み、限られた時間内にどれくらいの的確に診断と治療を実施することができるか、という救命医療技術を競うコンテストです。各チームは出動命令に従って指定された場所へ出動し、模擬患者さんに対して診察を行い、止血処置、人工呼吸、薬剤投与などの必要な処置を行い、その行為をジャッジが評価・採点します。

当院は第2回目から参加しており、日頃の訓練の成果を発揮すべく、今回は医師2名、看護師2名、神戸市消防局の救急救命士2名の6名がチーム代表として奮闘し、2年ぶりの優勝を果たしました。今回の経験を活かし、普段の救急外来での対応だけでなく、Dr carなどの病院前救護でも、より一層良い医療を提供できるように今後も努力いたします。



Victory

命のバトンをつなぐ“救命技術の輪”

当院では、突然の心停止に備えたICLS・BLS研修を実施し、職員の技術向上に取り組んでいます。

ICLSとは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語で、日本救急医学会認定の蘇生トレーニングコースです。「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とし、約1日をかけて実技実習を中心に蘇生技術や現場でのチーム医療を身につけます。受講対象者は医療従事者で、受講終了後はプロバイダー認定証が発行されアシスタントインストラクターの資格を得ることができます。

BLSコースは神戸市消防局のガイドラインに則り、救急救命士の指導で呼吸や心臓が止まったときに必要な応急手当法（AEDの使用法を含む）を学習します。**BLS**とは「Basic Life Support」の略称で、いざという時に適切な処置ができるよう全職員を受講対象とし、終了後は市民救命士講習修了証が発行されます。

ICLSコース・BLSコース共に年6回（偶数月）開催。現在ICLSコース426名、BLSコース395名が受講しています。

ICLSコース



BLSコース



脳動脈瘤といわれたら

●脳動脈瘤とは

脳の動脈がこぶ状に膨らんだ状態です。破裂してくも膜下出血になると命に関わりますが、ほとんどは無症状で偶然発見されます。

●診断されたら

脳神経外科を受診しましょう。当院では、脳動脈瘤の位置、大きさ、形、および患者さんの年齢や健康状態などを総合的に評価し、治療方法を提案します。

●治療法は

経過観察

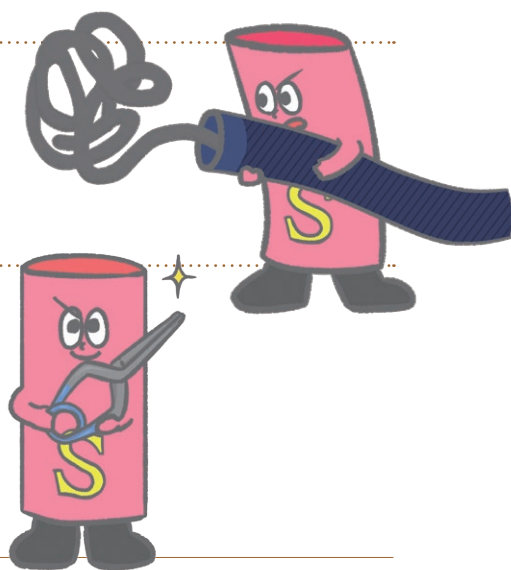
多くは破裂リスクが低いため、経過観察となります。瘤そのものを治す薬物はありますが、禁煙や節酒などの生活習慣の改善や血圧管理を併せて行い、定期的な画像検査を行います。

脳血管内手術

カテーテルにプラチナ製コイルやステントを通して動脈瘤を閉鎖する低侵襲手術です。

開頭術

頭蓋骨を開けて動脈瘤の根元にクリップを装着し、血流を遮断する外科的手術です。



当院の脳神経外科には、いずれの治療にも経験豊富なスタッフが在籍しており、破裂時などの緊急事態にも対応します。診断を受けた方はどうぞご来院ください。



地域の医療機関向けのご案内です

外傷ホットラインを開設しました

神戸医療圏における急性期外傷に対して
適切で迅速な医療を提供するために――

令和7年1月から、神戸医療圏における急性期外傷に対して適切で迅速な医療を提供することを目的として、**外傷ホットライン**を開設しました。整形外科の外傷とは、交通事故や転倒、仕事上の事故などで生じる骨折やケガのことを指します。

当院では骨折を中心とした外傷手術を年間約700件行っており、緊急性の高い開放骨折（骨折した骨が開放した創から体外に出てしまっている骨折）や切断指なども24時間365日体制で積極的に受け入れています。ホットラインとは、地域の医療機関（病院・クリニック）や消防と、当院の整形外科医が直接連絡を取り合うシステムで、治療が必要な患者さんに対してより迅速に適切な医療を提供できることが期待されます。

対象となる外傷は、緊急対応が必要な開放骨折、切断指、小児四肢骨折、準緊急で手術が必要な大腿骨近位部骨折などを想定しています。対象となる症例がございましたら、ぜひご利用ください。

整形外科部長 安田 義
医長 山下 伸之輔



医師も学ぶ！ 手指衛生研修で安全な医療を



手指衛生は、患者さんの安全を守るために欠かせない医療安全プログラムの一環であり、遵守率(必要な場面で行った割合)が高いほど院内感染のリスクを減らせることが多くの研究で示されています。

当院では、患者さんが安心して治療を受けられるよう、感染症予防の一環として手指衛生に力を入れています。医療従事者が手を清潔に保つことは、病院内での感染を防ぐために重要です。

そのため、当院では医師向けに手指衛生を学べる研修を実施しています。この研修では、手洗いやアルコール消毒が必要なタイミングを再確認しています。オリジナルボードゲームを活用し、楽しみながら学べるよう工夫し、実践的に学ぶ内容となっています。

当院では、これからも感染対策の取り組みを強化し、安全な医療環境の維持に努めてまいります。患者さんにも、病院内での手洗いや手指消毒のご協力をお願いしております。



皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

出張患者教室のご案内

当院では地域の皆様の健康づくりを支援する目的として、「出張患者教室」を実施しています。これは、住民の皆様がお住まいの地域へ当院の職員がお伺いして講演を行う取り組みです。「心臓病のお話し」・「認知症を知って付き合う」・「治らないがんが治る時代が来た！」など各診療科が様々なテーマを準備していますので是非ご利用下さい。



概要

対 象

神戸市内にあるいきいき患者教室や自治会等の集いの場で、概ね20名以上の参加が見込まれる集会。
(営利目的の集会は対象外です)

対応時間

応相談(原則、平日10:00~16:00)

講演時間

質疑応答も含めて1時間

費 用

無料 [ただし、会場確保や設営、講演に必要なプロジェクターやマイクの準備、司会進行等は依頼者側でご対応をお願いいたします。]

テ ー マ

当院ホームページでご確認下さい。

https://chuo.kcho.jp/departament/patient_classroom/

●申込方法

開催を希望する日の1か月前までに右記2次元コード
または当院ホームページにあるFAX申込書に必要事項を記載の上、
FAX (078-302-4424) でお申込み下さい。



お問合せ

患者総合支援センター

電話: 078-302-4321 (平日9:00~17:00)

FAX: 078-302-4424 / Email: renkei@kcho.jp

ご寄付のお願い

当院はこれからも地域の皆様へより良質で安全な医療を提供していきたいと考えています。皆様には寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡にかかわらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

き は ら や す き
神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原 康樹

ご寄付の流れ

1. ご寄付のお申込み

「寄付申込書」に必要事項をご記入いただき、下記の宛先へご提出ください（郵送・FAX・持参どれでも可）。寄付金の納付先をご連絡させていただきます。また、インターネットでのお申し込みも可能です。

「現金」、「銀行振込み」、「クレジットカード」のいずれかで可能です。また、遺贈によるご寄付も承っております。



詳細はこちら▲

2. 寄付受納書のご送付

寄付受納書は、口座への入金を確認後に発行させていただきます。

インターネットからクレジットカード決済をお申込みの場合、クレジットカード会社から当機構への入金が確認した日付以降となり、通常2～3か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

経営企画課

TEL: 078-302-4321 / FAX: 078-302-7537
E-mail: kifu@kcho.jp

寄付金で
購入いたしました



ヘパフィルター



外来用の椅子

ご寄付をいただいた皆様

(令和6年12月～令和7年3月)

多くの励ましやご支援をありがとうございました。

ご寄付をいただきました方のお名前を、感謝の気持ちとともにここに掲載させていただきます。

加藤 統子 様

松下 敏子 様

西澤 眞佐栄 様

安田 節子 様

藤田 泰子 様

巖 初枝 様

兼田 和典 様

弁理士法人セトマキ 様

株式会社ネットプランニング 様

第44回神経放射線ワークショップ 様

株式会社兵食 代表取締役 西村 恒一 様

(順不同掲載)



地方独立行政法人 神戸市市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1
TEL: 078-302-4321

http://chuo.kcho.jp

